

岩井歯科クリニックかわら版

No.10 2013.11.

✦ ご挨拶

降りつづく冷たい雨に、行く秋の寂しさを感じる頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか？向寒の折から、くれぐれもご自愛くださいますようお願い申し上げます。

✦ 自然の摂理・・・

ときはバブルも終盤、二十数年前、建築ラッシュの最中に自宅を建てました。入居直後から妻が原因不明の湿疹を発症、当時はホルムアルデヒドなどの規制も無く、「シックハウス症候群」など世に知られていなかった時代のこと。雨水の排水設備の不備も重なって、家中に湿気が入ってしまいました。その後、床下一面に炭を敷き詰め環境整備を図っても、なんとなくスッキリしない感が残ります。

そして今年の夏頃から家族の咳がひどくなり、喘息のような症状を呈してきたため調べてもらったところ、寝室にしている和室の「じゅらく壁」が原因ではないかとの指摘。湿気によるカビや経年劣化による微粉末の落下が、呼吸器系に影響を及ぼしていると考え、思い切って一室をリフォームすることに決めました。

工事開始前に畳をはぐり他室に埃が回らないよう養生してもらったところ、えも言われぬ異臭が漂い始めました。工事関係者の方に、原因を尋ねても特に臭いは感じないとのこと。「えっ！私達だけ、感じるの??」酸っぱいような変な臭いが充満して頭まで痛くなるほどなのに、なぜ彼らには分からないのか見当もつきません。アレルギーが発端のこの工事、様々なアレルゲンとなるものを除去していかなければなりません。業者の方も気を遣って床下を点検し清掃に努め、細心の注意を払ってくれましたが、工事期間中一向に臭いは取れませんでした。

ところが、工事終了時に養生ボードを撤去した途端、異臭が消えたことに気が付きました。「異臭の原因は、工所用養生ボードだった?!」関係者の方々は、この臭いに慣れていて分からなかったのだと、ようやく理解しました。

現代社会は3人にひとりがアレルギー体質と言われています。(かくいう私も「花粉症」患者です。)皆様もご存知のように、歯科治療においては「詰め物」

「被せ物」等で色々な金属を使用しています。特に「金属アレルギー」は、口の中の金属から発生している率が高いと言われており、保険治療で使用される「銀合金」や「ニッケルクロム」系の金属がアレルギーを引き起こす原因物質を多く含んでいます。多くの患者さんは、知らないうちに、そのような金属を入れられていることを自覚なさっていません。

最近、画一的に高気密・高断熱性能を謳った建物を宣伝している住宅メーカーが増えています。国の政策に沿って行われている面もありますが、24時間換気はしているものの、いまだに「シックハウス症候群」は無くなってはいないことから心配な面も残ります。歯科治療においても長年の不景気の影響からか、保険の金属で治療なさる方が大勢を占めています。

しかし、人はそれぞれ体質が違います。通り一遍の治療に満足されず、細部にまでこだわったものを求めて当院に来院される方が、確実に増えてきています。本当に自分自身の健康を維持するにあたり、「衣・食・住・医療・介護」などの意識を見直す必要があるのではないのでしょうか?・・・お蔭様で私の方は、リフォーム後体調が良くなりつつあります。

✦ 近況報告

去る10月26日(土)富山県民共生センターに於いて、「第8回 岩井歯科クリニック講演会」を開催致しました。「咬み合わせと体調について」など様々なお話しをさせて頂きました。当院では不定期ではありますが、このような講演会を開催しております。ご興味がございましたら、受講頂ければ幸いです。



左写真：講演会の様子

右写真：晩秋の大岩日石寺

(このニュースレターに関する皆様からのご意見・ご感想などをお寄せいただければ幸いです。)